

## 農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

他県の優良事例の視察をきっかけに、住民の意識改革。柵の適正管理や竹林の整備を実施し、被害低減を図るとともに、放棄されていた竹林を新たに「観光タケノコ園」として再生。

やまがし かほくまち うらがた  
**山鹿市鹿北町浦方集落**

（区長：中島 資生）

やまがし  
熊本県山鹿市

### 主な取組

- イノシシ対策のため、平成24年度～26年度にワイヤーメッシュ柵を設置するが、被害低減効果の実感よりも維持管理の負担が大きく集落には無力感が漂う。平成27年度に、他県の優良事例の情報を得て、現地視察を実施。
- 現地視察がきっかけとなり、集落全員で集落の環境改善について共通認識づくりに取り組み、これまでの「捕まえなければ被害は減らない」「柵を設置すれば入ってこない」「鳥獣対策は行政にやってもらうしかない」という概念を一気に覆すなど、住民の意識改革が起こった。
- 専門家からの指導を受け、竹林の下草刈りや間伐、柵沿いの草刈りなどによるひそみ場の撤去や、班体制によるワイヤーメッシュ柵の管理方法の見直し等の取組を集落ぐるみで実践。
- 長期間放棄されイノシシのエサ場兼ひそみ場となっていた竹林は、適正な管理を行った結果、「観光タケノコ園」として再生し新たなビジネスにも繋がっている。

【浦方地区の農作物被害額】

平成27年度：約170万円 → 平成30年度：約30万円